

努力目標	メンバー	重点努力事項	具体的な実践事項
ともに	ふるさとを愛する子ども	福山 杉本 萩原 村端 ア 社会に開かれた教育課程の実現 (カリキュラム・マネジメントの充実) (コミュニティ・スクールの推進)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域教材・地域人材を活用した学習の実施 ・総合的な学習の時間を軸とした地域一体の探求活動の充実 ・地域学校協働活動推進員の活用 ・コミュニティ・スクール(学校運営協議会)の運営 ・学校ホームページの定期的な更新(啓発活動)
つよく	命を大切にしている子ども	杉本 松本 ア 基本的な生活習慣の育成 (揃える・続ける・見届ける)	<ul style="list-style-type: none"> ・くらし方指導(あそぶじ運動)の充実 「あいさつ」「そうじ」「服装を整える」「時間を守る」
		池田 イ 体力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・体力面の実態把握と課題解決に向けた取組の充実 ・教科体育の充実 ・外遊びの奨励、放課後の時間の活用
		中野 田中茜 ウ 病気・けがの予防及び事故の未然防止 (新型コロナウイルス感染拡大防止)	<ul style="list-style-type: none"> ・マスクの着用、アルコール消毒、手洗い・うがいの徹底 ・校外でのくらし方、交通安全指導の徹底 (登下校時の歩き方及び自転車の乗り方等の指導)
かしこく	よく聴き伝え合う子ども	松本 萩原 ア 「熊本の学び」を意識した授業づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・学習構想案の作成と単元レベルでの授業づくり ・「書く活動」を取り入れた学習活動の工夫 ・「話す、伝える」を意識した学習の場の工夫
		松下 松本彩 イ 定着のための取組 (補充指導・個に応じた指導の充実)	<ul style="list-style-type: none"> ・補充指導「〇〇タイム」等と個に応じた指導の実施 ・家庭学習の充実に向けた取組(自学の進め方の工夫)
		田中 加平野 ウ 読書活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・読書活動の週計画への位置づけ ・学校司書との連携による図書館活用の充実
うつくしく	気づき行動する子ども	杉本 松本孝 ア いじめ・不登校の未然防止(愛の〇運動)	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な実態把握や児童理解の日の設定 ・「愛の〇運動(未然防止)」の実施
		西川 荒木 イ 学級力向上 (学習規律と支持的風土)	<ul style="list-style-type: none"> ・スマイルタイム(学級活動)とスマイルアクションの実践 ・学び方の定着(姿勢、返事、号令、ノートづくり等)
		濱本 ウ 道徳教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・「心に響く道徳の授業」の実施と積極的な公開 ・地域人材や管理職の積極的活用
共通実践事項	松下 杉本 ア 組織的な指導・支援体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・専科、少人数指導、IT指導、学習支援の充実 ・学年部のまとまりを意識した情報共有・共通実践 	
	田崎 吉武 橋柿 イ 教育環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・年間通しての美しい校舎・校庭、「花いっぱい運動」の充実 ・安全点検の徹底と迅速な対応 ・ユニバーサルデザインの視点に立った板書や掲示物の工夫 	
	福山 杉本 ウ 五者連携の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・気になる児童、配慮を要する児童の家庭との連携の強化 ・五者(子供・学校・家庭・地域・行政)連携の推進 	
	渡邊 松下 エ 情報端末の整備・活用	<ul style="list-style-type: none"> ・情報端末活用スキルの学習計画の作成と実践 ・ICT機器を活用した授業づくり ・ICT機器を活用した家庭学習のあり方研究 	
	田中 平野 オ 幼・保等、小中連携の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・本渡中学校区での授業公開や情報共有と共通実践 ・連携カリキュラムに沿った取組の重点の設定 	
教育の基盤	沢村 ◎ 人権教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・推進体制の確立と指導方法等の工夫・改善 ・児童主体の活動の場づくり、ほめ言葉の奨励 ・年間3回の人権旬間の取組の充実 	
	今福 野島 ◎ 特別支援教育の推進 (多様な学びの場の提供) (合理的配慮の提供)	<ul style="list-style-type: none"> ・交流及び共同学習の推進(インクルーシブ教育) ・個別の指導計画に基づいた適切な教育課程の編成と実施 ・専門家(S C等)と連携した保護者へのアプローチ 	